

夏休みの有効な勉強方法を考えて

得意教科を伸ばすことと苦手教科の克服どちらを優先すべきか？

苦手教科が受験科目であった場合、苦手教科が大きく点を下げるためどうしても苦手教科を克服しなければいけませんね。例えば、国語は比較的得意で、70点くらい取る人がいたとしましょう。しかし、数学は30点くらいしか取れないとすると、伸びしろから考えると数学は70点くらいあるので、数学が上昇すると合計点で大きく伸びる可能性があります。

ただ、苦手教科はどうしても手がつけにくいのではないのでしょうか。得意教科はわかるから楽しい、モチベーションが上がる、そんな人が多いと思います。自分で意識して苦手教科の勉強時間を確保してください。

夏休みの各教科の課題を精一杯活用しよう。

各教科から課せられる課題は、しっかり復習できるものです。ワークの答えを埋めるだけではなく、自分が覚えたかどうかを確認しながら進めることが大切です。苦手教科の場合は、一冊のノートを用意して、まずはノートに答えを書き込む、二度目にワークに答えを書き込む、そんな方法はどうでしょう。一度目は考えても分からない時は、自分で調べ、わからなければ、答えを活用してもいいと思います。答えを活用すること自体は決して悪い事ではありません。ただ、写してそのままにするのは意味のないことだとわかります。しかし、答えを活用して、解き方を覚え、二度目にやる時には覚えているかどうかを確認しながら取り組む、そうすれば、インプットとアウトプットが一冊のワークでできるわけです。

自分に合った確実な勉強方法を見つけ、点数アップにつながる学習をしてください。

みんなの意見でも

先日、「わたしの勉強法」について話し合いをしました。向いていた良い方法として

- ワークを周回する。
- ワークを解きなおす。
- 青ペンと赤シートを使って、繰り返し解く。
- 前日の夜にインプット・アウトプットをする。

などの意見が出て、「繰り返しと確認」が重要だと気付くことができました。

「看護の出前講座」

7月3日（水）の5校時に、「看護の出前講座」を実施します。この講座は、3年生の進路学習の一つとして考えました。昨年度、チャレンジワークを経験した3年生の職業学習のまとめとして、また直前に控えた進路選択に本格的に取り組むために、高校の先に自分の職業があることを念頭において考えられるように計画したものです。「仕事をする上での喜びや苦労」「仕事をするための必要な資格について」などを講師の先生がお話してくださる予定です。「看護」の仕事は、目に見えて社会の貢献度が高い仕事で

す。また、講師として来ていただく予定の先生は、助産師として仕事をされている方ですから、人生のスタートに立ち会う仕事というだけで、興味深いものがあります。皆さんが将来の進路を考える意味で少しでも参考になればうれしいと思います。

【オープンスクール】

昇降口の壁面には、オープンスクールの案内で一杯です。引き続き夏休みには、積極的に参加してください。高校では、オープンスクールとともに保護者対象の学校説明会も予定しています。参加していただければ、学校の事、入試の事がよくわかると思います。検討してみてください。



授業風景から

郷内中学校は今年度から、4教科(音・美・保体・技家)については定期考査は行わず、授業内で実施する単元テストや授業内での課題などを重視していきます。美術では、「授業で取り組む小さな課題を大切にしてほしい」と説明すると、「この課題やり直してもいい？」などと声上がり、課題に丁寧に取り組む姿勢が見られました。自分の学習に対して、できる努力を惜しまず、その先の評価にもこだわる人が増えてきました。3年生が受験生らしさを見せてくれたことをうれしく感じました。

【保護者の皆様へ】

第2回進路希望調査をお願いしています。提出締め切りを7月5日(金)にしていますので、期限内での提出をお願いします。1学期の個人懇談では、保護者の皆様に入試の流れを確認していただければと思います。2学期には、出願に向けていろいろとお願いしていくことがあります。お願いする内容については、この進路だよりや進路説明会でお知らせしますのでどうぞよろしくお願いします。

夏休み中のオープンスクールは、積極的に参加するようご指導ください。また、事前の申し込みをしたオープンスクールを欠席する場合は、保護者の方から高校に欠席連絡をしてください。